

地方自治ここにあり 首長インタビュー

消滅の可能性No.1を超えて

開創1200年を 100年後のまちづくりを  
構想するスタートに



平野嘉也町長

高野町長 平野 嘉也 さん

高野町は、ことし高野開創1200年を迎えました。50年に1回という節目の年に、町政を担当する平野嘉也町長に、宗教都市高野町のまちづくりの基本方針や取り組みなどをお聞きしました。インタビューは和歌山県地域・自治体問題研究所の鈴木裕範理事長です。

開創1200年を  
将来を考える契機に

鈴木：町長に就任してほば一年、高野町では史上最少の町長となります。多くの皆さんが、平野町長に期待した結果だと思います。  
平野町長：そうですね。1200年続いている町で、お

大師さん（弘法大師空海）が、今年が節目の年、町の将来を考えるために1200年を与えたんだよっていう年やと思うんです。だから、高野町全体が、そろそろ次の100年に向けて考えなければと、みんながそういう雰囲気になったと実感しております。

鈴木：お大師さんの声が聞こえてきましたか。

平野町長：悩んでいるときに、お前がやれというように、何かささやきがあったんです。それがお大師さんかどうか僕には分からないけど、それを聞いた次の日にはもう吹っ切れました。本当に何かがあったんです。ここは日本の高野山であり、世界の高野山です。僕はいま高野山が果たすべき責任っていうのは、ものすごくたくさんあるのではないかと思います。

鈴木：就任して、最初に取り組んだのは、どんなことですか。

平野町長：まず、今年の開創法会の50日間の医療体制です。期間中に訪れる人はだいたい20万から30万人と予想されます。

鈴木：一日約1万人。山上、山内の医療の救急体制は重要な問題ですね。

平野町長：はい、そうです。取りあえず医療は、24時間50日の救急体制ができました。規格外で町外に住んでいる職員もおり、とくに消防職員が高野町内に住むことについての長い間、問題になっておりました。何かあってもすぐに駆けつけられないということですね。

鈴木：高野町の職員が高野山に住んでいない？

平野町長：消防職は町内に住む決まりがある、決まりは守りなさいと、前例は僕には通じないから帰って来いというので、帰って来るようになりました。今年の3月31日までに、町外に出ていった職員皆高野町に帰ってくる予定です。それが

目次

地方自治ここにあり首長インタビュー 高野町長 平野 嘉也さん....	1
「紀見を語ろう」シンポジウム 橋本市紀見地区公民館長 藤田ひとみ .....	5
治安維持法犠牲者の足跡を訪ねての橋本・奈良の旅での講演② 平和教育の力がアジアと世界の人々との信頼きずく 治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟中央本部・国際部 岩下美佐子 .....	8
織田秀信と真田幸村⑬ 堂本 育司 .....	12

わかやま住民と自治

発行／和歌山県地域・自治体問題研究所  
和歌山市湊通丁南1丁目1-3 名城ビル3F  
TEL・FAX 073-425-6459  
jichiken@crux.ocn.ne.jp 2015年 4月号



救急医療の拠点を担う総合診療所

波及して、一般の職員、40人ぐらいたが町外から通る状態ですが、ぼつぼつ戻ってこようかなっていうような、いい流れができそうな感じですが、当然、住宅ローンとか子どもの教育とかいろいろあり、帰って来れない職員もありますけれど、基本的には将来帰ろかなっていうようなムードになれぱと思ひます。

鈴木：この町がこれからも

あり続けるために大事なことです。職員の意識改革です。

平野町長：そうです。

それと、財政が小さいところなんで、アイデアでお金が入ってこないか、かつ高野町をPRできないかというところで、ふるさと納税、すぐ見直しました。ふるさと納税は、件数で140倍、金額で40倍ぐらになりました。それを全国から来られる方に、また住民に還元していかなければなりません。

鈴木：どう見直しましたか。

平野町長：お大師さんに助けていただこう、力を貸していただこうっていうことで、お大師さんにまつわる産品も増やしました。広報の仕方も去年10月1日から完全リニューアルしています。

### キーワードは宗教・

#### 環境・道徳

鈴木：ところで、町長はまちづくりのコンセプトに、3つのキーワードをあげて

います。

平野町長：はい。高野山なので宗教ですよ。そして、あえて観光じゃなくて環境というのをあげさせていたできました。それと道徳です。政治と宗教は当然分けるべきですが、これは文化と考え前面に出していきたい。

それと、2050年までを考えたら、環境に対する先進地になりたいという思いがあるんです。この山の中が、CO<sub>2</sub>を出さない移動機械、そういうもので、モデル地区みたいなものをつくっていききたい。高野山というところは、日本、世



開創1200年法会が営まれる金堂

界の人々が、ただただ観光に来るんじゃないくて、一度リセットできるような場所にした。最近いろんな心が痛むようなこととかが非常に多いですよ。ね、優しいっていうか、そういうものをいろんな人に分け、教えられる、考えられる

ようなところが高野山じゃないかと思うんです。そのためにも、金剛峯寺と役所が手を組める所は手を組んで、一緒に歩まないといけないと思ひます。

鈴木：平野町長が、大切にしている大師の教えは一言で言うとなんていいますか。

平野町長：やっぱり共利共生な精神ですかね。

鈴木：時代のキーワードです。ところで、高野山の環境問題ですが、マイカーの入山制限などの規制まで想定されてのお話ですか。

平野町長：昭和の初めに、高野山に車を入れるかどうかっていうので大論争にな

ったときあるんです。いまは車を入れるような状況になってますが、将来的には町全部は無理ですが、ある程度の場所は水素、電気自動車とか、CO<sub>2</sub>を出さない空間っていうのをつくっていききたいですね。2034年に御遠忌があるんです。そこまでにできるかどうか分かりませんが、昔の高野の形に近づいてもいいんじゃないかな。高野山が栄えるには高野は高野であり続けなければならぬ。それを続けていたから1200年続いているんだと思う。それに向かう為にも新たに都市計画を考えないといけないと思ひます。過去に学ぶところもたくさんあります。

観光に関しては、いま以上な戦略が立てられるような新しい観光協会をつくっていきま。高野山に来ていただく人が、何を求めているのか、それをきっちり把握し分析して応えていくようにしたい。金剛峯寺と高野町、宿坊組合と昔の観光協会を束ねるような組織を



電気自動車充電スタンド(高野町役場玄関前)

つくりたいと思えます。

鈴木：三つ目の道徳ですが、率直な感想を言わせていただくと、若い町長が、道徳を3つのキーワードの中にあげたので、驚きました。

平野町長：そうですか。朝のおはようから始まって、おやすみ、ありがとうって言う、きっちりした教育とどうか当たり前のことができない時代になりつつあるような気がします。

高野山に来ていただいて、ここで何か気付いてもらおう、そうしたものがここにはあります。今後は企業団体の研修とか観光等を組み合わせ、道つていうのを使って、武士道の道、柔道、剣道、

書道とか、そういったものにも絡めていきたいと思う。道徳つていうことを重視しています。

鈴木：道ですか。

平野町長：道です。最終、高野山にたどり着く道というか。古道も沢山あります。1200年法会が終わったから、林間学校、そういう道のつくところに自ら足を運んで、セールズに動こうと思つてます。

鈴木：注目させていただき

### 自治体消滅論を超えて 町を再度デザインする

ところで、元総務大臣の増田さんを中心とした、有識者のまとめたレポートが、話題になっています。ほぼ1年前に発表にされましたが、全国の地方自治体の約半分がなくなつてしまつてという、ショッキングな予測でした。レポートでは、高野町が和歌山県で一番消滅の可能性がある、というデータでしたね。

平野町長：ナンバーワンです。日本で17位です。就任したのが5月1日で、その記事を見たのがその週末。びっくりしました。びっくりしたけど、よして、逆境こそ成長の糧というか、よりチャンス、より注目されていいなつていうふうに思いました。今後、高野山の立ち位置つていうものをしっかり決めていけば、いろんなところから人が集まつてくると僕は信じてます。まずはそれを、全国に、世界に発信して、人口維持に努めていきたい。うん、増加までね、5000人ぐら



笑顔が魅力的な女性店員 (みろく石本舗 かさ國で)

大学というところまで、今後、月1万から3万ぐらいの奨学金制度のような事を考えていきたい。保育園から大学ぐらいつままでの手立てがきつちりできる体制をしていきたい。

それと、やっぱり高野山の中に、もっと観光客、信者さん、そういった方々を呼んでくる、くることに

いまで戻つてほしい。高野山と周辺の地区に対していろんな構想がありますので、地域振興策等をしつかり進めてまいりたい。町全体が浮上してくるようになったら自然と人間も集まつてきます。何とか、増田レポートを10年、20年後に見ながら、笑つて過ごせるようになったらいいですね。

鈴木：人を呼び込む、Iターン、Uターン対策を、どう進めていくのが重要な問題ですね。

平野町長：はい。まだ整理できてませんが、高野山で育つた人間が半分以上、高野山に帰つてきます宣言をしてみたいです。あとは女性が住みやすい町ですね。まだまだ案ですけど、たとえばシングルマザーさんに来ていただくなど。そのためには高野山で臨時の職員等の仕事ができる。保育園の保育料無料、小中学校の給食費も無料、今は中学生までの医療費は無料ですが、もっとそれを18歳ぐらひまで上げていく。小中学校は給食費と医療費とか、かからないから、あとは高校、

よつて、町なかに仕事を創りだすことが大事ですね。

高野山地区以外の富貴や花坂地区つていうところは、農業をしつかりしてもらいたい。まだまだ構想ですけど、富貴でワインをつくりたい。標高4、500メートルのブドウをつくるのに、ものすごくいい場所である。選挙のときに走り回つて思ったのですが、耕作放棄地が非常に多い。ワインをするなら蕎麦みたいな形で、その地で六次産業化までやつて、物を売つていくつてい



真言宗総本山金剛峯寺、外国人観光客も目立つ

うようなことを考えていき  
たい。高野富貴ワインとい  
うブランドであればヨーロ  
ッパでも必ず売れると思  
います。巡礼の關係で一生懸  
命まちおこしをして人を流  
入させたいという思いがあ  
ります。  
鈴木：なるほど。新しい産  
業を興す、山内でどう雇用  
の場をつくり出すのかは、  
やっぱり大事ですね。

平野町長：基本は、まず役  
場と金剛峯寺の職員は、高  
野町に住むっていうことな  
んです。半分以上町外へ出  
ていってます。それをきつ  
ちりする。まずはじめに、  
役場、本山の職員が高野町  
内で住むっていうことと、  
その次は、外からの流入を  
どんどん増やしていく施策  
を役場も金剛峯寺も考えて  
いかなければいけないので  
はないかと思ひます。  
鈴木：なるほど。山内はそ  
ういうような形で、そして  
ほかの地区は農業を基本に  
した六次産業化による振興  
策を考える。あわせて空き  
家対策です。  
平野町長：そうですね。空  
き家は高野山地区も、それ  
以外の地区もいっぱいあり  
ます。そうした空き家対策  
では、空き家バンクをつく  
ってます。27年度で、移住  
専門の係もつくって、今以  
上に空き家対策を加速させ  
る。移り住もうかなって思  
う人に対して、いろんな相  
談もそこでできるようにし  
たいと思う。

制度ですが、平野町政1期  
4年の間に、実際に軌道に  
乗せたいと。  
若手と女性の声を活かす  
まちづくり塾創設へ  
平野町長：乗せたいですね。  
システムだけの問題なん  
で、28年度ぐらいからはき  
つちりしていききたい。27年  
度中に、地方創生とかを考  
えた総合戦略っていうこと  
で、「みらい創生塾こうや」  
っていうのをつくるんです。  
役場の若手職員と民間の方  
と入れて、みんなで町を考  
えようという思いで立ち上  
げます。移住対策は、そこ  
でも議論のひとつになると  
思ひます。  
鈴木：「みらい創生塾こう  
や」は、どういう組織をお  
考えですか。  
平野町長：若手の職員約10  
名と町内の有識者の方、ま  
あ商工会青年部とか青年団  
とか南山会等、そういった  
方に入っていたきたたく思  
ひます。

らつくつてい  
く。女性の声  
をどう町政に  
反映させてい  
くかも大事で  
す。  
平野町長：当  
然、女性にも  
入ってもらい、  
積極的に発言  
していただこ  
うと思つてま  
す。役場の  
組織の中でも、  
4月からは女  
性の管理職も  
きつちりつく  
つていききたいですね。  
鈴木：そうした中から、高  
野町の将来像を構築してい  
こう、ということですね。  
おしまいに、今、地方自治  
に問われていることは、何  
だとお考えでしょうか。  
平野町長：やっぱり、それ  
ぞれの自治での自律です。  
自らを律することをしてい  
かなければならないと思  
ひます。この町をどうい  
ふうなスタンスでいくか  
つていう、きつちりしたもの  
を決めて、住民と話し合い

前に突き進んでいく。  
鈴木：それが、高野町だけ  
ではなくて、いままでの地  
方自治で求められているこ  
とと思ひます。  
平野町長：高野町で生まれ  
て、最後は高野で死にたい  
という、そういう町をね、  
つくりたいですね。世界中  
から日本中から一度は来て  
もらえらるような、そういう  
場所にもしていきたいと思  
ひます。  
鈴木：ありがとうございます。



高野町のこれからを語る平野町長